

年 組 名前：

山梨の「富士山」全国トップ

国土交通省は、全国各地で導入している図柄入り自動車用ナンバープレートの普及率を発表した。第1弾として2018年から導入した41地域のうち、富士吉田市など7市町村が対象の「富士山」Ⅱ写真（国土交通省ウェブサイトより）Ⅱがトップとなった。

図柄入りナンバープレートは、「走る広告塔」として地域の知名度アップなどにつなげようと、18年10月にスタート。第1弾として41地域、20年に第2弾として17地域で導入された。

図柄入り車用ナンバー普及率

同省は今年3月末時点の普及率の高かった上位5地域を第1弾と第2弾それぞれで発表。「富士山」の普及率は4.04%で、実際に取り付けられたのは3672台だった。次いで「熊本」(熊本)の2.81%、「福山」(広島)の2.61%など続いた。第2弾の中で最も普及率が高かったのは「飛鳥」(奈良)の6.29%だった。「富士山」の図柄入りナンバープレートは山梨、静岡両県にそれぞれあるがデザインが異なり、山梨版は葛飾北斎の浮世絵「富嶽三十六景」の一つで、朝焼けに染まる「赤富士」を描いた「凱風快晴」をアレンジした図柄が採用されている。静岡版の普及率は2.57%。

上位地域の自治体を対象にした表彰式が30日に東京都内で行われる。

〈横内史貴〉

【 記事を先生や家族に

読んでもらうか、

自分で読んだ後に、

教えてください 】

(2023年5月27日付 山梨日日新聞 23面)

問1 図柄入り自動車用ナンバープレートの第一弾41地域のうち、「富士山」がトップになりました。

対象となる市町村は、何市町村ありますか。また、何台に取り付けられましたか

..... 市町村 台

問2 図柄入り自動車用ナンバープレートの制度は、どのような理由で始まったのですか。

.....

問3 「富士山」ナンバーの山梨版は、だれの浮世絵をアレンジした図柄を採用していますか。

.....